

ニュースリリース 2025年10月07日

新市場・新用途開拓に向けたインクジェット技術の展開

## 京セラ、iPrint研究所と協業開始

製品・ソリューション、プリンティングデバイス、提携・協業

京セラ株式会社（代表取締役社長：谷本 秀夫、以下 京セラ）の欧州事業の中核子会社である KYOCERA Europe GmbH（社長：植木 邦彦、以下 KEG）は、独自のインクジェット技術を生かし、3D印刷、塗装、プリンテッド・エレクトロニクスなど新規用途展開を目的として、スイスに拠点を置くインクジェット技術に特化した公的研究機関iPrint研究所（Co-Director：Gioele Balestra、堂前 美徳、Gilbert Gugler、以下 iPrint）と、2025年10月から協業を開始しますのでお知らせします。



インクジェット方式を含むデジタル印刷は、画像データに基づき必要な数量を即座に印刷できる手軽さや、版が不要なため、版洗浄の廃液が発生せず、環境負荷が低減されるという利点があります。近年では、ニーズの多様化や少ロット多品種生産の需要増加、生産現場の省人化・自動化の推進などを背景に、従来のアナログ印刷からデジタル印刷へのシフトが加速しています。

京セラは、長年培ったファインセラミックスの独自技術や流路設計、製造技術を生かしたインクジェットプリントヘッド「EXシリーズ」を中心、捺染や商業印刷などの分野でトップシェア※を誇り、デジタル印刷市場を牽引しています。今後は、3D印刷、塗装、プリンテッド・エレクトロニクスなど新たな用途への展開に向け、技術拠点の整備を国内外で進めています。

※ 2025年8月京セラ調べ

iPrintは、西スイス応用科学芸術大学（HES-SO）のHEIA Fribourg校に所属するインクジェットに特化した公的研究機関であり、世界各地から技術者や企業が集い、多様なニーズに応える研究・開発活動を推進しています。インクジェット技術に関する最先端の研究開発活動やトレーニングコースを提供しており、さまざまなインクを取り扱うことができる環境も整備されています。

本協業では、iPrint内にKEGが専用スペースを設け、最新設備や技術を活用することにより、従来取り扱いが困難であった特殊なインクや材料などの評価を行います。また、評価により得られたデータを蓄積、解析することで、技術サポートの高度化・効率化を図り、新規用途への展開に向けた積極的な活動を進めてまいります。

京セラは、本協業によりインクジェット技術のさらなる発展と知見の拡大を推進し、産業分野における新たな可能性を広げるとともに、持続可能な地球環境の実現に貢献してまいります。

## ■iPrint概要

iPrintは、スイスに拠点を置く西スイス応用科学芸術大学（HES-SO）のHEIA Fribourg校に所属する公的研究機関です。グラフィック印刷やエレクトロニクス、バイオメディカルなど多様な分野における応用研究、最先端インクジェット技術の研究開発などを実施しています。学際的な体制のもと、人々と知識を結びつけ、持続可能な方法でエコシステムと社会の幸福のために価値ある製品開発を後押しするイノベーションを生み出しています。



iPrintの拠点があるMarly Innovation Center

記載されている内容は、報道機関向けの発表文章であり、発表日現在のものです。ご覧になった時点ではその内容が異なっている場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# お問い合わせ

報道関係者



[Home \(..../../\)](#)

[ニュースルーム \(..../../\)](#)

[ニュースリリース \(../..\)](#)

[京セラ、iPrint研究所と協業開始 \(..../../../\)](#)



[ご利用規約 \(https://www.kyocera.co.jp/legal/index.html\)](#)

[プライバシー \(https://www.kyocera.co.jp/privacy/index.html\)](#)

[サイトマップ \(https://www.kyocera.co.jp/sitemap/index.html\)](#)

© KYOCERA Corporation